

2013年10月24日 第2143回例会報告

【点鐘・ロータリーソング】
“手に手つないで”

【来客紹介】

◎ゲストスピーカー
“墨田区都市開発、現状と課題”

卓話者 墨田区議会議員
下 村 みどり 氏
(紹介者) 杉本さん

○ビジター

東京城東RC 葉 佐 昭 男 氏
東京城東RC 山 田 昇 氏

【会長報告】

○出席率90%超え、喜ばしい事です。
○10/31徳島プリンスRC 7名が出席されるので、歓迎していただきたい。

【幹事報告】

○11/7 臨時総会の案内
○10/30 臨海RCの20周年が東武ホテルレバントで開催されます。

【委員会報告】

○出席率報告・出席委員会(瀧澤(伸)さん)
○親睦委員会(榎本さん)
・3/15・16家族旅行の告知(下見希望を
集う案内)
・東京ステーションホテル(家族忘年
会)宿泊希望の案内
・家庭集会のメーキャップ
○ロータリー情報委員会(石川さん)
財団への寄付の案内
○出席委員会(石川さん)
今年度初の90%超えについての話
○国際奉仕委員会(滝澤(健)さん)
台北の件 案内(参加希望の案内)
○向梅会
表彰式がある(分区ゴルフ)
○ニコニコ報告(小松崎さん)
○本日の司会(八木さん)

【ニコニコBOX】

[廣田さん] 家庭集会が始まりました。
参加頂き活発な意見をお願いします。又、
台風にはご注意下さい。

[今井さん] 今回は食事に鳥肉がなくてうれしいです。

[杉本さん] 下村みどりさんをお迎えして。

出席者	欠席者	出席率	前々回の出席率の訂正
会員 44名中 34名	10名	87.80%	90.24%

[西田さん] 台風がおだやかに来て欲しいものです。

[大塚(一)さん] お久し振りです。5週間振りです。毎日楽しく忙しく生きています。

[石川さん] 雨の中のゴルフが続いています。秋空の下でやりたいです。

[今さん] 妻の誕生日のお祝いありがとうございました。

[八木さん] 本日、初めての司会です。不手際、お許し下さい。

[瀧澤(伸)さん] 自宅の階段からすべり落ち、しばらく自宅治療しておりました。やっと出席出来るようになりました。また宜しくお願ひ致します。

[大沼さん] 10月に入っても台風が続いている。今年は色々とあり、自然にさからえません。

[小川(守)さん] 金谷さん、昨日はトライ・アールにて御馳走様でした。

[田宮さん] この処、抽選でクオカード2枚もらいました。感謝を込めて、ニコニコ。

[小池さん] 本日向梅会でも優勝させて頂きありがとうございました。

[樋口さん] 山田さん、ようこそおいで下さいました。下村議員をお迎えして、長谷川さん山本さん過日はありがとうございました。

[浦谷さん] 年1度の花が来て。

[榎本さん] 今年は台風の当り年!気をつけましょう。

[藤澤さん] 妻の誕生日にすてきなお花をありがとうございました。

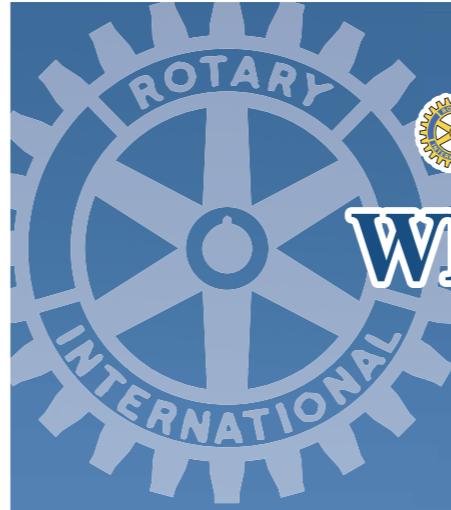
[長谷川さん] 台風注意!

[小松崎さん] 先日の家庭集会、長谷川さん、おいしいお料理ありがとうございました。

本日合計	56,000円
累計	810,000円

【卓話】

10月24日の卓話は、“墨田区都市開発、現状と課題”と題して、墨田区議会議員 下村みどり氏にお話いただきました。



東京向島ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



RI会長方針 ロン・バートン

ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を

会長方針 廣田 健史

ロータリーを語り
友情を深めよう!

東京向島ロータリークラブ

- 会長: 廣田 健史
- 幹事: 今井 達
- 庶務委員長: 小池 肇

例会日: 木曜日 12:30~13:30

例会場: 東武ホテルレバント東京
TEL 03(5611)5611
FAX 03(5611)5629

事務局: 墨田区錦糸1-1-5 Aビル6階
TEL 03(5637)4606
FAX 03(5637)4611

2013年10月31日(第2144回)例会

本日の卓話
「ローテックス活動について」

卓話者 2013-2014
ローテックス委員長
藤田 隆太 氏
紹介者 板橋さん

11月7日の卓話
「ロータリー財団月間に因んで」

卓話者
メンバー
石川さん

会員情報

「マグロへの挑戦」

山木 康弘

遡ること4年前です。

シーラでも釣ろうかと城ヶ島沖でルアーを投げていたところ、船長が魚探をみて「下になんかでっかいのがいるぞーー」なになに？なんてのんびりとルアーを投げていると、突然海が黒く泡立ちイワシが飛び出してきました。そのイワシ群れに黒い巨体が突っ込んでいます！！！「マグロだー」と叫んだ瞬間、私の竿が一気に突っ込みました。「食ったーー」糸が一気に出るあまりの勢いに竿が立てられない！何もできないまま糸が100メートル200メートルと出て行く。魚の走りが止まらない！！もう糸がなくなる、もうやるしかない。糸が出るのを抑えるためドラグを最大まで締める。止まらない。最後の手段、リールを手で押さえた瞬間、「パーン」という破裂音とともに糸が切れてしまいました。私は思いっきり尻もちをつき、周りにも聞こえるのではないかという心臓音を出しながら茫然としておりました。「化け物だ・・・」これがマグロとの出会いでした。マグロと出会った年はそれ以来姿を見ることもなく、取れる自信もなく過ぎていきました。そもそもマグロが回遊してきた理由は黒潮の位置の変化が原因といわれています。今まで黒潮の位置は本土からかなり離れた位置に流れていたのですが、世界の気候の変化とともに日本列島に近接、さらに相模湾周辺にあった漁礁が回遊ルートを作ったと言われています。ただ自然のものですから次の年も必ず来るとは言い切れない状況でしたのでもう出会うことはないだろうと思っておりました。

ところが！2年目7月中旬にマグロがいると言う噂がチラホラと・・・、「ヤツが来た 勝負だー」。

仲間と化け物と戦うための仕掛けや道具などを練り直し何度も挑戦に出ましたが、かかってもすぐに切られる。まさに「瞬殺」でした。

3年目にもまた回遊しててくれました。2年目に蓄積したノウハウを駆使し仲間内でも「取ったどー」と言う悔しい電話がかかってくるようになりましたが、私の竿が引き込まれることはありませんでした。

そして今年、6月中旬からマグロ目撃情報が！去年よりも1ヶ月も早い！漁協の協定で8月1日までマグロのエサ釣りは禁止されていますので、ルアードしか勝負できません。頑張って通ったのですが惨敗・・・。

そして八月になりその日が来ました。

かかった瞬間、取ってもいないのに両手でガッツポーズしていました。一気に100メートルの糸ができる、経験済みで楽勝！50メートルまで引き上げる！ところがそこから150メートル逃げる、そんなやり取りを約30分、とうとう執念のマグロの姿がっ！やった！とっ！ところが、「サメだー」マグロの巨体の3倍はあるサメが待っていましたとばかりに、ガブリッと背中と尻尾を美味しく食べていきました。完璧な体で取り込むことは出来ませんでしたが30キロのマグロです。執念が実りました！3年前とは違い今は船宿でマグロの道具もレンタルできます。先日は初めて釣りをした人がなんと2匹も釣ってしまいました。

皆さんもぜひ挑戦いかがですか？



ロータリー情報

ロータリーの徽章の使い方

色使いや楔穴が削除されているなど、いろいろな間違いがあります。ロータリーの徽章は世界各地でクラブとその会員を表す唯一の標章です。ロータリークラブの例会場所の目印となったり、クラブや地区によって提唱されたプロジェクトであることを証明したり、クラブや地区のウェブサイトや出版物につけたりするものです。

公共イメージにおいて重要な役割を担う徽章は、常に正確でなければなりません。指針には、歯車の一部を切り取ったり、変形したり、回転させなければならないとあります。色は、ロータリーの公式色であるロイヤルブルーと金色を用います。また、「ROTARY INTERNATIONAL」という語を削除したり、ほかの語に入れ替えたりすること、あるいは楔穴を削除したり塗りつぶしたりすることも許されません。

「ロータリー」という名称を正しく用いることも重要です。「ロータリー」の名称が単独で使用される場合、これは国際ロータリーを示すものとされます。明確にわかるように、プロジェクトの名称、ウェブサイトのドメイン名には必ず提唱クラブ、地区、そのほかのロータリー組織の名称を用いるようにします。「ロータ」という接頭語の使用を含め、「ロータリー」という語のいかなる改造も認められていません。

名称と徽章を正しく使用できるよう、国際ロータリーではロータリアンのための資料を用意しています。方針とデザインの指針を説明した「RI視覚的イメージのための手引き」ならびにロータリーのロゴを無料でダウンロードして、利用できます（RIのウェブサイト www.rotary.org から、会員→クラブの運営→広報→資料ライブラリー）。なお、この手引き（574）は4ドルで、ロータリーの徽章とRIおよびロータリー財団プログラムのロゴが収められているロータリーロゴのCD（234）は5ドルで購入できます。

月刊向島俱楽部

江戸東京博物館

開館20周年記念特別展【開催中の特別展】――

明治のこころ モースが見た庶民の暮らし

大森貝塚の発見者として知られるエドワード・モース。1877（明治10）年から3度にわたって日本を訪れた彼は、日本の庶民の暮らしや心根に魅せられ、多彩な品々を「記録」としてアメリカに持ち帰っていました。

モースが感嘆した、明治の名もなき日本人の「こころ」とは何だったのか。全米最古の博物館といわれるピーボディー・エセックス博物館とボストン美術館に所蔵される「モース・コレクション」から、選び抜かれた320点の生活道具や陶器を展示。明治の庶民を写した写真やモース自身の日記、スケッチなども加え、失われた明治の日常がおよそ140年の時を経てよみがえる、江戸東京博物館の開館20周年記念特別展です。

会期：平成25年9月14日(土)～12月8日(日)

会場：江戸東京博物館1階展示室（東京都墨田区横網1-4-1）

開館時間：午前9時30分～午後5時30分

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館、朝日新聞社

観覧料：1,300円(一般)

すみだトピックス